



# 米国連邦通信委員会（FCC）の緊急コールルーティング規制

- [緊急コールルーティング規制の概要](#)（1 ページ）
- [緊急コールルーティング規制の設定](#)（3 ページ）

## 緊急コールルーティング規制の概要

緊急コールルーティング規制は、米国および米国以外のタイムゾーンでの緊急コール（911）の設定およびルーティングに関する米国 FCC の法律に準拠した情報を提供します。

米国 FCC は、緊急サービスのための全国規模のシームレスな通信インフラストラクチャの迅速な導入を促進し、可能にすることで、公共安全を緩和するために次の法律に署名しました。

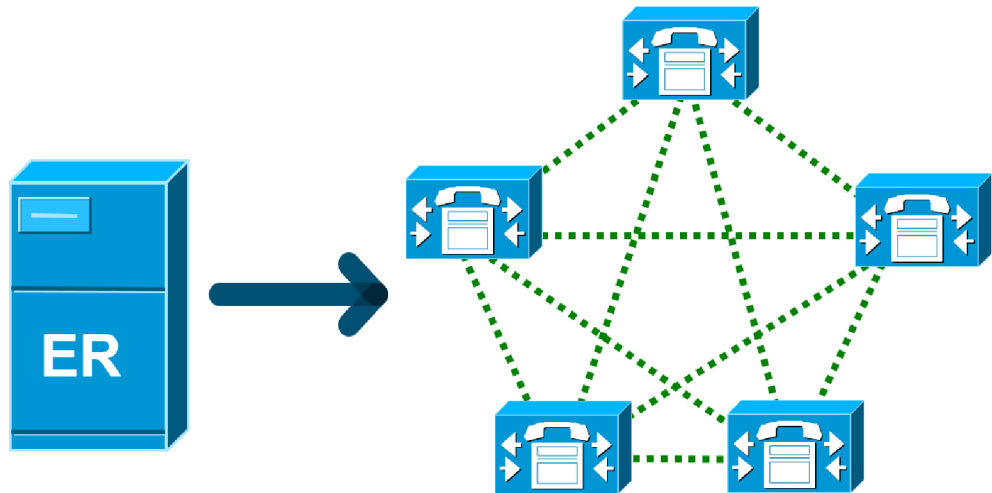
米国 FCC は、緊急通報（911）ルーティングに関する次の法律に署名しました。

- **Kari の法則**：この法律は、オフィスビル、キャンパス、ホテルなどの設定でユーザにサービスを提供する複数回線電話システム（MLTS）に適用されます。FCC では、MLTS を使用してユーザが 911 を直接ダイヤルできるようにする必要があります。この場合、外線にプレフィックスをダイヤルする必要はなく、緊急コールの発信時にフロントデスクまたはセキュリティオフィスに通知されます。
- **レイバウムの行為**：レイバウムの行為のセクション 506 では、911 コールセンターが発信者の位置を自動的に受信するように、使用されている技術プラットフォームに関係なく、緊急コールで位置の詳細（住所、建物番号、フロア番号、部屋番号）を送信します。迅速に応答者をディスパッチできます。

FCC 法の詳細については、<https://www.fcc.gov/mlts-911-requirements> を参照してください。

Emergency Responder は、テレフォニーネットワーク内のコールを効率的に管理し、すべての緊急コールを地域の条例に従って処理します。また、ロケーションの詳細をディスパッチし、Unified Communications Manager に通知をディスパッチします。

次の図は、Emergency Responder と Unified Communications Manager 間の接続を示しています。



444664

## Emergency Responder

## Unified Communications Manager

Cisco Emergency Responder の詳細については、[Cisco Emergency Responder アドミニストレーションガイド](#)を参照してください。

### MLTS としての Unified Communications Manager

Cisco Unified Communications Manager Administration は、米国のタイムゾーンにインストールされたシステムの直接911ダイヤルパターンの不在を検出するソフトウェアが組み込まれたMLTSです。

911 ルートパターンが有効になっていない場合、Cisco Unified CM Administration のホームページに警告メッセージが表示されます。このシステムでダイレクトダイヤル911パターンを設定していません。連邦通信委員会の規則では、米国のほとんどの複数回線電話システムに直接ダイヤル911パターンを設定することが義務付けられています。



445284

FCCの法律が適用されない米国以外のタイムゾーンにシステムがインストールされている場合は、Unified Communications Manager の [緊急コールルーティング規制（Emergency Call Routing Rules）] 設定ページが無効になります。



(注) FCC法の適用については、法律カウンセラーに相談し、システムで承認する必要があります。

# 緊急コールルーティング規制の設定

法律に準拠してダイレクトダイヤル 911 ルートパターンを確認および設定するために Unified Communications Manager で設定された緊急コールルーティング規制。

## 始める前に

将来の参考のために、FCCの法律を受け入れて設定した後は、必ずバックアップを作成してください。

## 手順

- ステップ 1 [緊急コールルーティング規制 (Emergency Call Routing Rules) ] ウィンドウにアクセスするには、次のいずれかを実行します。
  - [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration) ] から、以下を選択します。 **高度な機能 > 緊急通話のルーティング規制**
  - アラート通知にあるリンクをクリックして、ホームページで 911 ルートパターンを設定します。
- ステップ 2 [上記の通知を読み、上記の通知を読み、弁護士に相談して特定の義務を決定しました] のチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3 [911 設定ページに移動する (Take me to the 911 configuration page) ] チェックボックスをオンにし、[送信 (Submit) ] をクリックして、FCC 法が適用される場合は直接 911 通知を設定します。[ルートパターンの設定 (Route Pattern Configuration) ] ウィンドウに移動します。デフォルトでは、[パターン定義 (Pattern Definition) ] セクションで 911 パターンが設定されています。
- ステップ 4 設定したパターンの [ゲートウェイ/ルーター一覧] ドロップダウンリストから、適切なゲートウェイ、ルート、またはトランクを選択します。その他のフィールドおよびその設定の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 5 [保存 (Save) ] をクリックします。

(注) FCCの法律が適用されない米国のタイムゾーンにシステムがインストールされている場合は、法律を承認し、**[緊急通話ルーティング規制（Emergency Call Routing Rules）]** ウィンドウの **[911 義務に関する追加の通知を無効にする（Disable any any notification about my 911義務）]** チェックボックスをオンにし、**[送信（Submit）]** をクリックして 911 通知を無効にします。

法律が適用されない場合、管理者は911 ルートパターンの今後のアップグレードおよび新規インストールの通知を放棄します。

構成された設定は、将来のアップグレードのために保持されます。アラート通知がホームページに表示されなくなり、**[緊急通話ルーティング規制（Emergency Call Routing Rules）]** ウィンドウが無効になります。

システムがアップグレード中に911 ルートパターンをすでに作成している場合、またはタイムゾーンが米国以外のタイムゾーンに変更されている場合は、確認応答ページがグレー表示されます。

---

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。